

# ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_

ボーリングNO.															
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 \_\_\_\_\_

シートNO.

ボーリング名	No.2(staNo.35+12.8m)		調査位置					北緯	36° 44' 51.4000"			
発注機関	栃木県矢板土木事務所				調査期間	2008-11-05 ~ 2008-11-08		東経	139° 48' 02.1000"			
調査業者名				主任技師			現場代理人			ボーリング責任者		
孔口標高	246.24 m	角度			地盤勾配			使用機種			ハンマー 落下用具	
総掘進長	10.39 m						試験機	エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日						
												深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N	値										
1				玉石混り砂礫 (GS-B)	暗灰	密な		10-50mm程度の円, 亜円礫を主体とする 150-600mm(コア長 L=50-200mmの3倍程度として推定)の玉石が連続混入 礫間は細砂により充填され細粒分の混入は殆どない 2.20m付近より少量の粘土が混じる 孔壁崩壊し易い 全体にルーズな堆積状態				1.15			26	26							11/05			
2												1.45	9	9	8									30	44	44
3				粘土混り玉石混り砂礫 (GS-B-C)	褐灰	非常に密な		10-50mm程度の円, 亜円礫を主体とする 150-600mm(コア長 L=50-200mmの3倍程度として推定)の玉石が連続混入 礫間は砂と粘土により充填されている 風化礫を混入している 8.5m付近で完全漏水する 9.7-9.9m間は砂が多い 全体に締まって堆積している				3.15			33	33							11/06			
4	242.74	3.50										3.50	3.45	12	10									11	30	33
5												4.15	50											50	9	>50
6												4.24														>50
7												5.15	27	23	6									50	16	>50
8												5.31														>50
9												5.35	17	33	4									50	14	>50
10												6.49														>50
												7.15	50											50	9	>50
												7.24														>50
			8.15	50	5		50	5	>50																	
			8.20						>50																	
			9.15						50																	
			9.45	15	16	19	30																			
			10.15						>50																	
	235.85	6.89	10.39	16	21	13	4	24	>50																	
			10.39						>50																	